

苫小牧市総合戦略推進会議

令和7年度第1回会議資料

令和8年2月5日（木）15時30分から
【苫小牧市役所5階 第2応接室】

本日の会議内容

1. 第2期人口ビジョン及び総合戦略について【報告】
2. 今後の総合戦略について

01 | 第2期人口ビジョン及び総合戦略について【報告】

1. 検証① 人口の推移について

・令和5年に公表された推計（赤線）は、第2期人口ビジョンで掲げた将来展望（青線）及び平成30年の推計値（緑線）よりも人口が減少しており、人口減少が加速している状況。第3期人口ビジョンにおいても、第2期と同様の目標（2040年に15万人、2060年に13万人を維持）を掲げており、引き続き切れ目のない取組が必要。

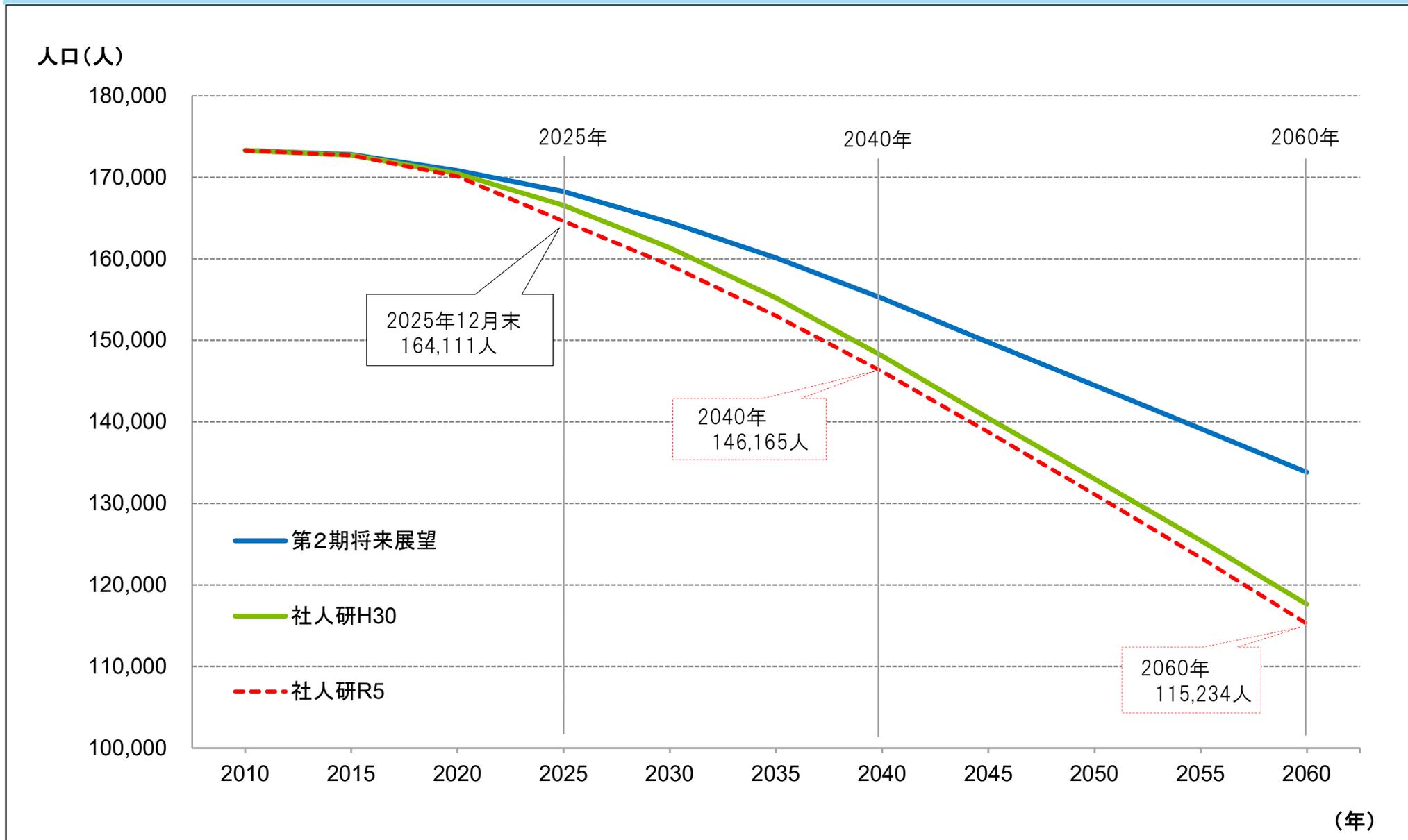


図1 国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省）の直近の推計（苫小牧市）

検証② 人口増加率の推移について

・道内の人口規模上位5市のうち、札幌市を除く4市で比較すると本市の人口減少幅は少ない状況ではあるが、減少傾向は変わらず続いており、自然減の抑制と社会増に向けた取組が必要。

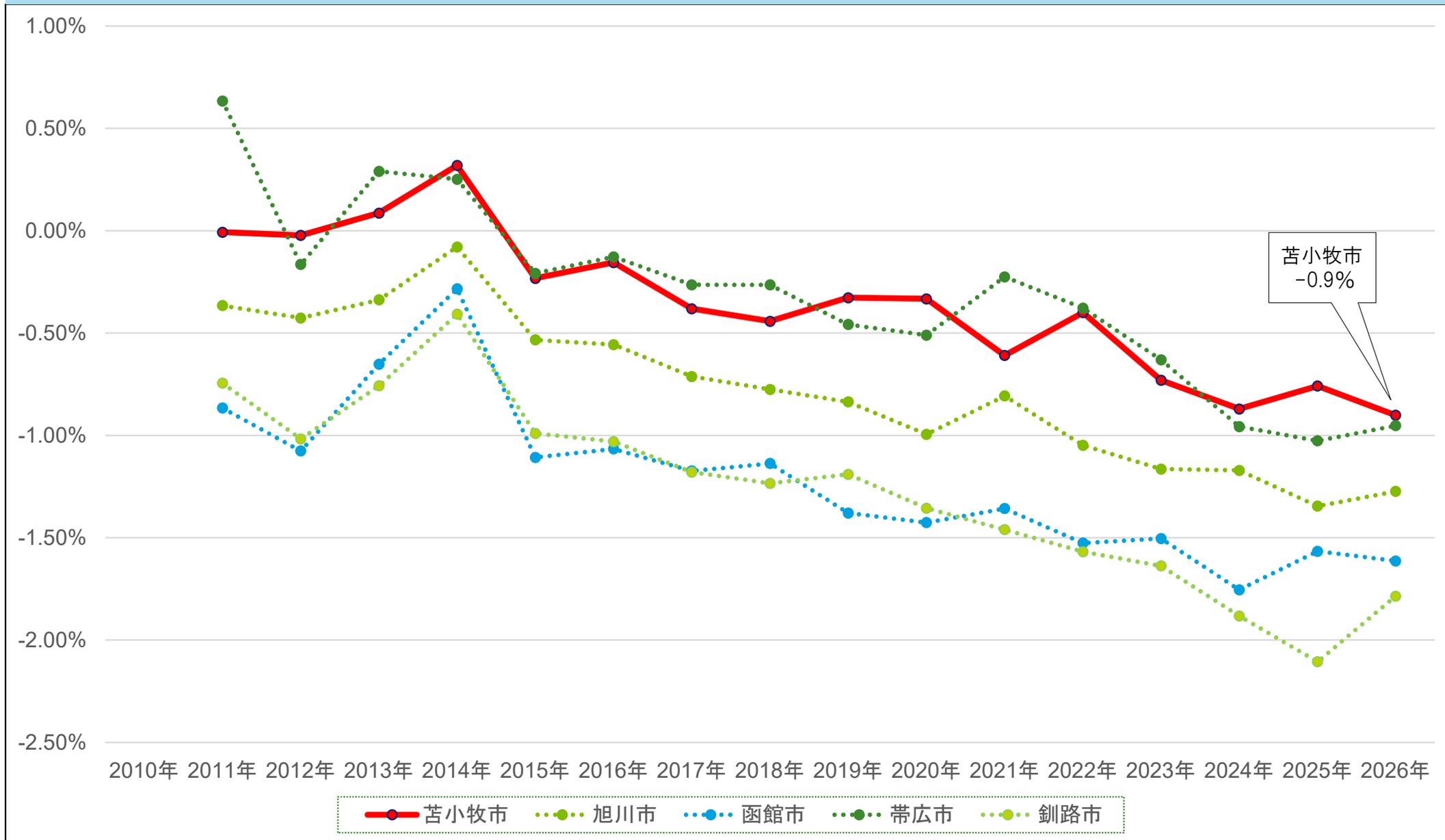


図2 人口増加率の推移（道内5市）

検証③ 合計特殊出生率の推移について

・本市の合計特殊出生率は、平成25年（2013年）～平成29（2017年）をピークに減少し、現在は1.41。道内の市町村と比較すると高い結果となっているが、第2期人口ビジョンの将来展望に掲げる目標値【合計特殊出生率1.80】を下回っている状況。

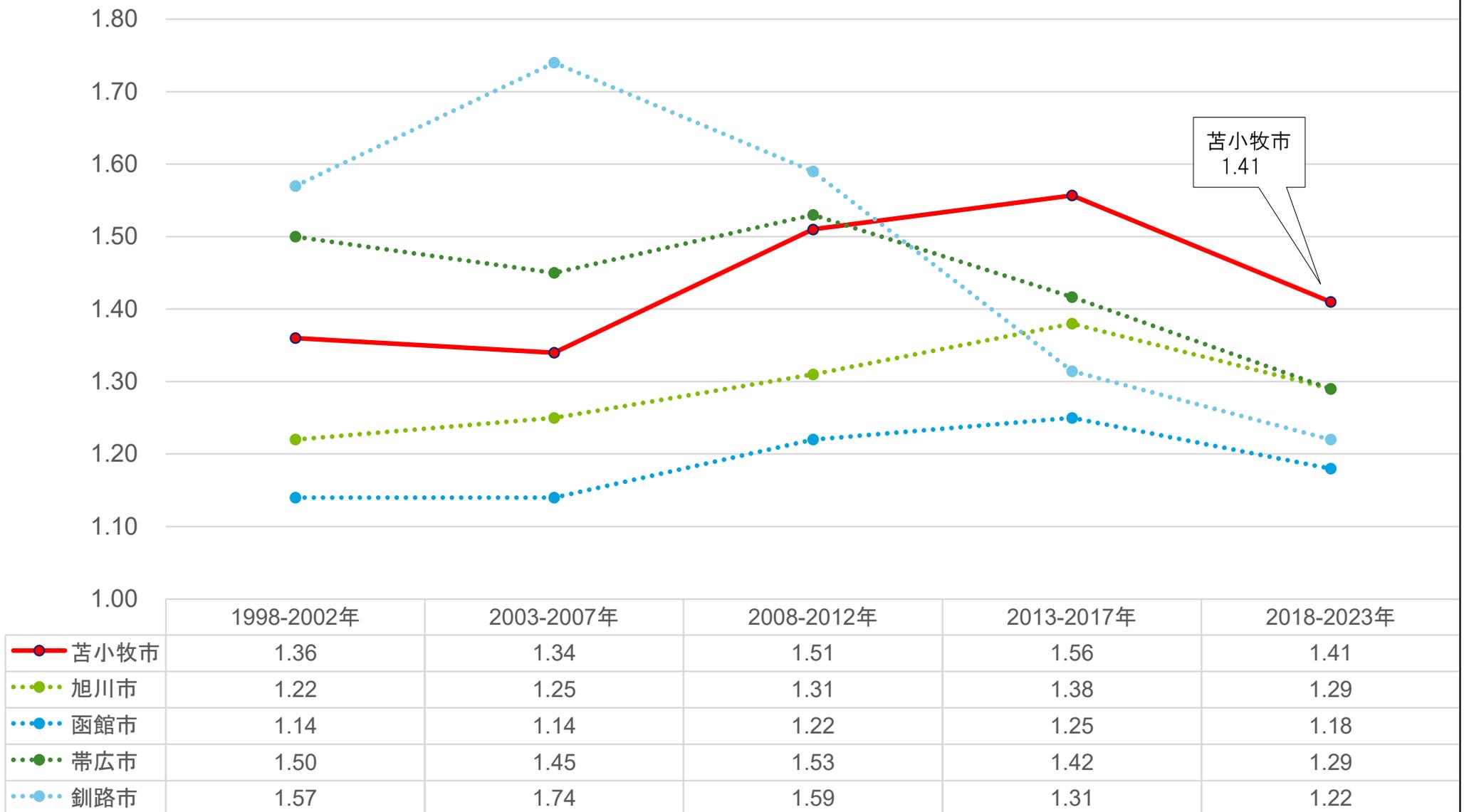


図3 市区町村別の合計特殊出生率 厚生労働省令和6年4月公表

検証④ 人口動態の推移について

- ・社会動態は同水準で推移しているが、自然動態については死亡数が増加し、出生数が減少を続けていることから、引き続きの対策が急務。また、出生数は2025年が809人となり、2020年ぶりに前年を上回った。

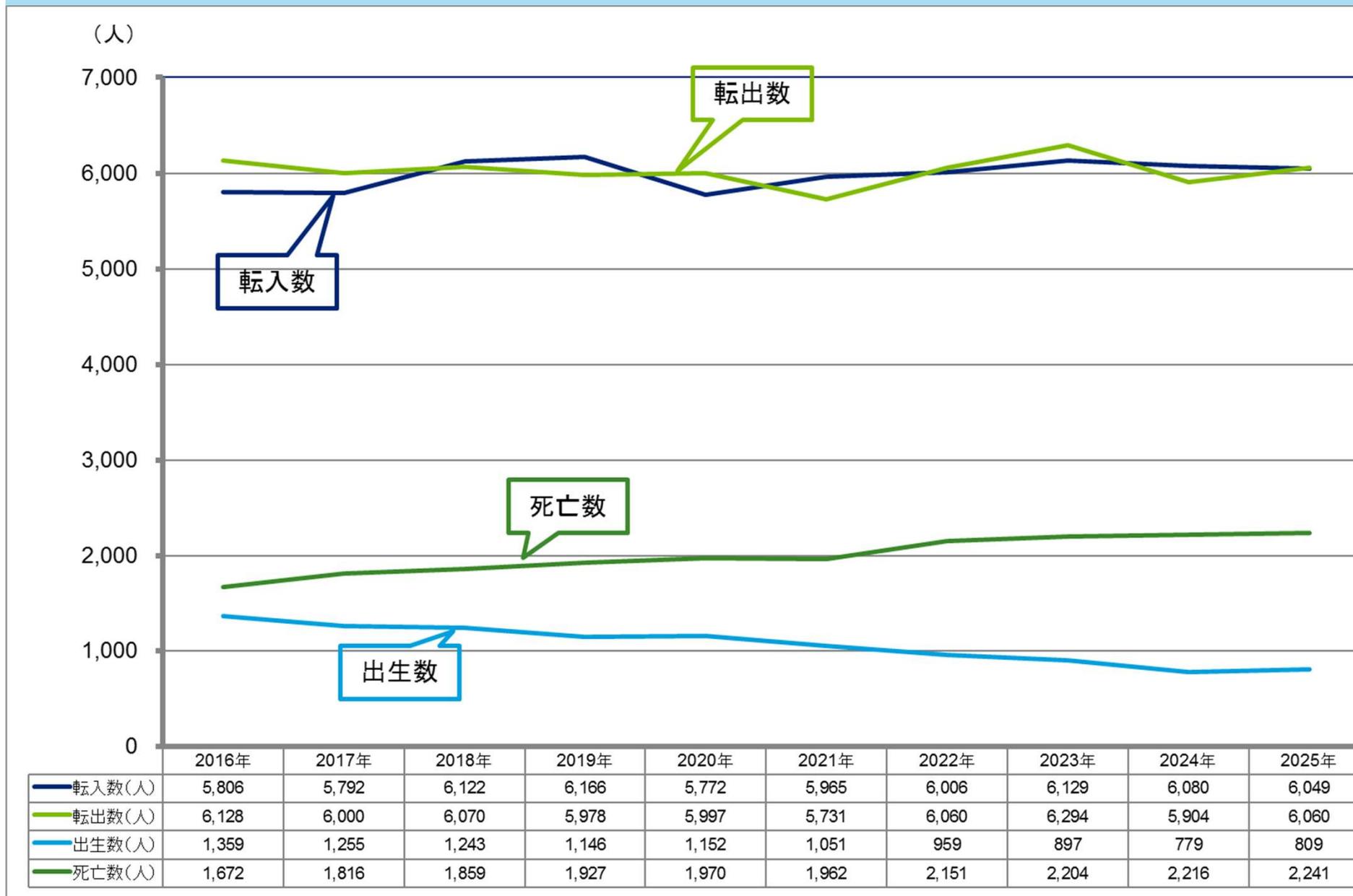


図4 社会動態・自然動態の推移

検証⑤ 第2期総合戦略の取組状況について（令和2年度～令和6年度）

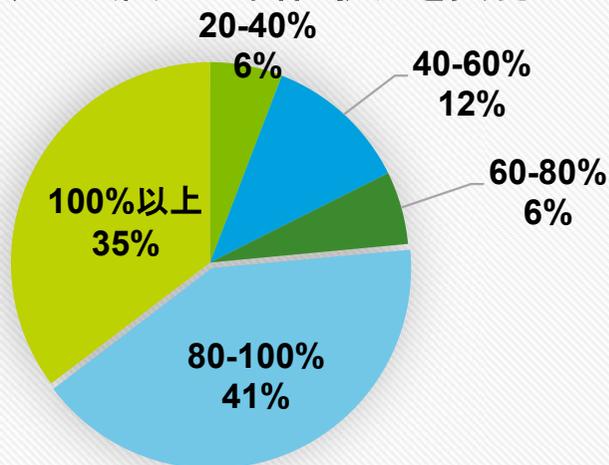
4つの基本目標における数値目標

1.地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現	H30基準 (2018)	R4実績 (2022)	R5実績 (2023)	R6実績 (2024)	R6目標 (2024)	達成状況
新規雇用創出数（人）	46	累計148	累計212	累計251	累計230	109.1%
管内学生の管内事業所就職割合（%）	45.5	45.5	44.7	41.2	50	82.4%
新規創業件数（件）	12	累計77	累計100	累計121	累計125	96.8%
2.子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備	H30基準 (2018)	R4実績 (2022)	R5実績 (2023)	R6実績 (2024)	R6目標 (2024)	達成状況
合計特殊出生率（-）	—	⇒	1.41	—	1.8	78.3%
子育て環境や支援の満足度（5段階評価）	2.9	⇒	2.83	—	3.3	85.8%
3.地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進	H30基準 (2018)	R4実績 (2022)	R5実績 (2023)	R6実績 (2024)	R6目標 (2024)	達成状況
転入者数（定住人口数）（人）	6,122	6,006	6,129	6,080	6,600	92.1%
観光入込客数（万人）	199.5	213.1	263.6	289.4	260	111.3%
「苫小牧市は住みやすい」と回答した人の割合（%）	33.1	—	—	31.3	40.0	78.3%
4.産業競争力を高め、地域ブランド力を向上	H30基準 (2018)	R4実績 (2022)	R5実績 (2023)	R6実績 (2024)	R6目標 (2024)	達成状況
新規企業進出件数（5年間累計）（件）	累計16	累計7	累計9	累計11	20	55.0%
「働く場」としての魅力度（%）	40.5	—	—	41.6	50.0	83.2%

4つの基本目標における重要業績評価指標（KPI）の達成状況

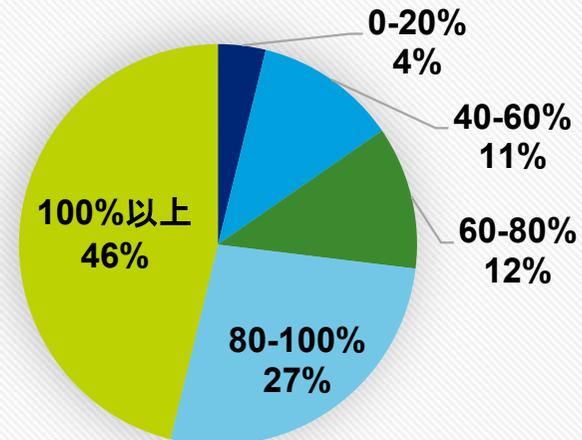
※詳細はP10～P25のとおり

基本目標(1) 地元企業と学生の”つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現



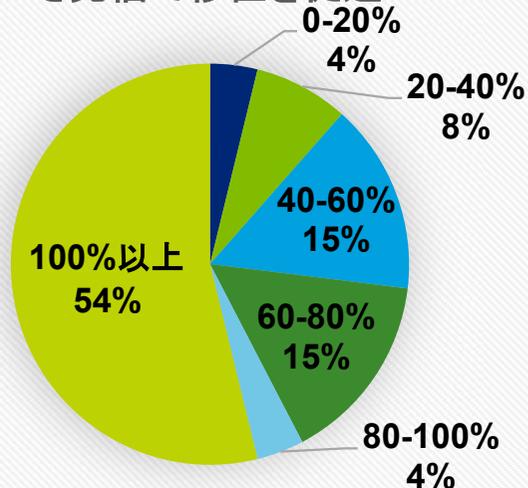
■ 0-20% ■ 20-40% ■ 40-60%
■ 60-80% ■ 80-100% ■ 100%以上

基本目標(2) 子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備



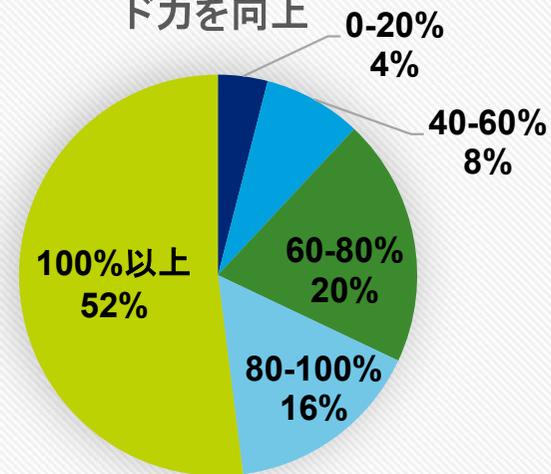
■ 0-20% ■ 20-40% ■ 40-60%
■ 60-80% ■ 80-100% ■ 100%以上

基本目標(3) 地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進



■ 0-20% ■ 20-40% ■ 40-60%
■ 60-80% ■ 80-100% ■ 100%以上

基本目標(4) 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上



■ 0-20% ■ 20-40% ■ 40-60%
■ 60-80% ■ 80-100% ■ 100%以上

基本目標 1 地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現

現状と課題

- ・ 市外の転出の統計データを年齢別にみると、大学進学や就職を機に多くの若者が市外（特に札幌市や首都圏）へ転出していることがわかる。
- ・ この状況から若年層（20歳代）の転出抑制及び転出者の再転入を促す雇用環境の充実が課題となっている。

基本目標と施策の基本的方向

- ・ 市内の高校・大学等に通う学生が地元企業を知り、興味を持つ機会を設け、企業の認知度を高める。
- ・ 若者をはじめ、働きたい人が働くことができ、地元企業の雇用を確保・拡大できるよう支援するとともに、市内創業者（起業家）の創出・育成を図る。
- ・ Society5.0の実現に向けた未来技術の活用を促進する。

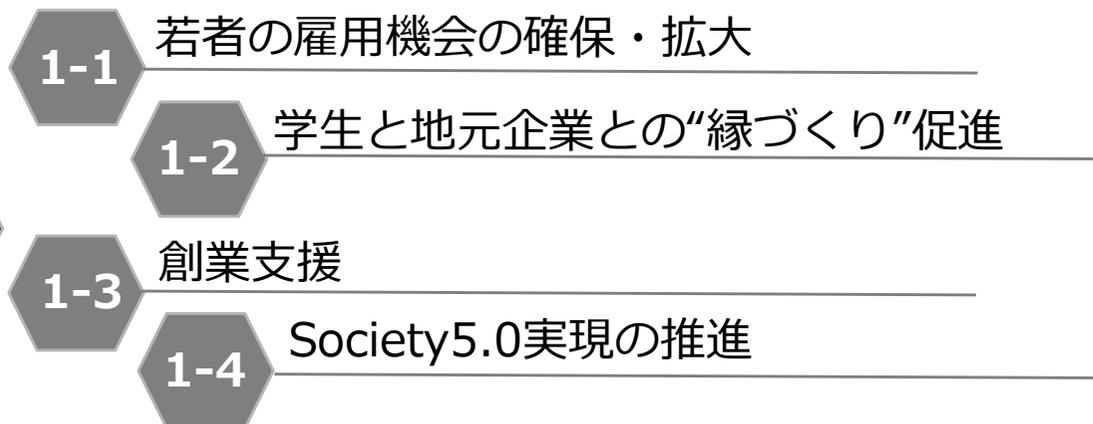
基本目標における数値目標

項目	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
新規雇用創出数（人）	46人	累計148人	累計212人	累計251	累計230人	109.1%
管内学生の管内事業所就職割合（%）	45.5%	45.5%	44.7%	41.2	50%	82.4%
新規創業件数（件）	12件	累計77件	累計100件	累計121	累計125件	96.8%

基本目標

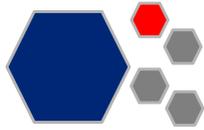
地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現

施策の基本的方向



施策1

若者の市内就職の促進



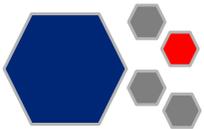
- UIJターン希望者等の市内就職に向け、都市部で合同就職説明会を開催し、市内企業の人材確保を支援するとともに、企業で行う職場体験や実務研修などの実施により、若者の市内就職を促進する。
- 地域の中小企業等の人材確保及び首都圏から本市へのUIJターンによる就業・起業の促進を図る。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
合同就職説明会事業	内定者数(人)	9	累計19	累計27	累計34	累計40	85.0%
若者人材育成事業	就職者数(人)	6	累計23	累計32	累計38	累計30	126.7%
若者地元定着促進事業	登録者数(人)	—	累計53	累計59	累計27	累計50	54.0%
苫小牧UIJターン新規就業支援事業	北海道のマッチングサイト求人掲載数(件)	—	24	25	34	100	34.0%
介護人材確保支援事業	就職者数(人)	12	累計51	累計64	累計64	累計75	85.3%
介護職員育成支援事業	介護職員育成支援人数(人)	29	累計139	累計176	累計212	累計200	106.0%

施策2

学生と地元企業との交流・連携機会の創出



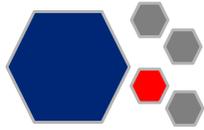
- 無料就職マッチングサイトにより、市内外の学生をはじめ、求職者に市内企業の魅力や求人情報を広く周知する。
- 高校生等を対象とした職場見学とバスツアーを開催するなど、学生と地元企業が出会う機会を設ける。
- 地元企業と連携し、小学生を対象とした疑似的な就労体験イベントを実施する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
就職マッチング支援事業	掲載企業数(人)	63	517	596	713	450	158.4%
就業チャレンジ支援事業	参加者数(人)	289	累計272	累計388	累計511	累計890	57.4%
キッズタウン開催事業	参加企業・団体数(社)	24	—	24	26	27	96.3%
関係機関と連携した各種取組の展開	参加者数(人)	355	累計506	累計779	累計1,052	累計1,200	87.7%
市内大学インターンシップ支援事業	長期・有償のインターンシップ参加学生数(人)	—	累計37	累計64	累計76	累計105	72.4%

施策3

苫小牧における創業支援



- ・ 苫小牧市内での創業希望者に対して、創業前後に必要な支援を実施する。
- ・ 関係する機関（商工会議所、金融機関等）と連携し、創業希望者に対して支援を行う。
- ・ 女性のエンパワーメントや潜在層の起業支援、起業後の交流の場を設けるなど、女性活躍に向けた取組を促進する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
創業サポート事業	新規創業セミナー参加者数(人)	69	65	70	66	72	91.7%
創業等相談窓口の機能強化	相談件数(件)	825	累計2,894	累計3,300	累計4,410	累計4,500	98.0%
女性活躍促進事業	事業参加者数(人)	—	263	256	177	150	118.0%

施策4

Society5.0の実現に向けた技術活用の支援



- ・ 全国的に労働人口の減少が進む中で、市内企業が抱える課題・ニーズへの解決や新規事業を創出するため、先進的な技術やサービスを導入する企業を支援する。
- ・ 市の取組として、定型業務へのRPA導入、問い合わせ業務のAI化などにより業務効率化を図る。
- ・ 安全・安心なまちづくりのさらなる取組として、消防活動のICT化を検討する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
苫小牧イノベーション活性化事業	補助件数(件)	—	累計16	累計21	累計25	累計30	83.3%
行政サービスのICT化	業務削減時間(年間)(時間)	—	2,670	2,071	1,794	1,700	105.5%
消防活動のICT化	飛行型偵察・監視ロボット、導水ロボット導入数	—	1式	1式	1式	1式	100.0%

現状と課題

- 現在の合計特殊出生率を維持しても人口は減ることから、合計特殊出生率をさらに上げ、出生数を増加させなければ、人口減少の抑制は難しい。
- 出産や子育てしやすい環境を整備するとともに、子育ての経済的負担感の軽減が課題となっている。

基本目標と
施策の基本的方向

- 子育ての負担を軽くする社会の実現を目指し、世代や性別を超えた子育て支援を推進する。
- ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、働きやすい環境を整備する。
- 社会の変化に対応する体験学習の機会、地域資源をいかした体験プログラムの充実により、子育てにとって良質な環境を提供する。

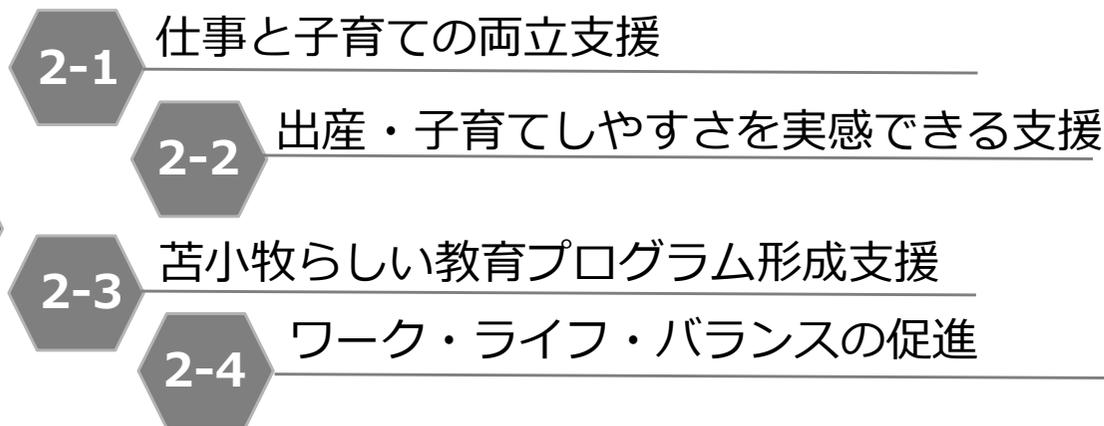
基本目標における数値目標

項目	H30基準	R 4 実績	R5実績	R6実績	R 6 目標	達成状況
合計特殊出生率 (-)	—	⇒	1.41	—	1.8	78.3%
子育て環境や支援の満足度 (5段階評価)	2.9	⇒	2.83	—	3.3	85.8%

基本目標

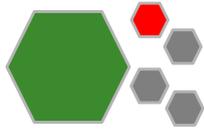


施策の基本的方向



施策5

ワーキングマザー&ファザーの子育て応援



- 子育て中の母親・父親向けに講座の実施や出産・育児と両立に向けた支援することで、出産・子育てを理由とした離職を減らす。
- 子育ての物理的・経済的な負担を軽くすることで、「子どもが欲しい」「もう一人産みたい」の希望をかなえる。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
父子健康手帳交付事業	父子健康手帳の交付率(%)	—	97.3	96.8	95	100	95.0%
	子育て応援教室の参加組数(組)	24	53	51	37	50	74.0%
小規模保育施設整備事業	小規模保育施設の設置数(施設)	6	12	13	14	15	93.3%
	小規模保育施設の入所児童数(人)	117	231	263	281	300	93.7%
なでしこ就業応援事業	就職者数(人)	19	累計55	累計89	累計115	累計85	135.3%
放課後児童クラブの充実	待機児童数(人)	3	0	0	0	0	100.0%
多子世帯給食費助成事業	支給者数(人)	—	416	439	455	430	105.8%

施策6 子育て支援・保育サービスの充実



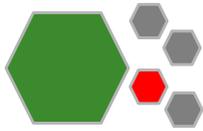
- 全ての子どもが心身ともに健やかに成長できる環境整備を図り、地域社会全体における子育て支援事業の充実を推進する。
- 多子世帯家族にとって負担の大きい、保育料の無償化（3人目）や不妊治療及び不育症に係る助成を行うなど、経済的な負担軽減を図る。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
地域子育て支援事業	プレールーム利用数(人)	35,761	19,419	21,529	21,437	15,000	142.9%
	育児相談件数(件)	668	420	545	1,313	300	437.7%
	サークルルーム登録団体数(団体)	25	21	18	17	30	56.7%
一時預かり事業	保育所型の利用児童数(延べ人数) (人)	4,524	4,041	4,222	4,464	3,000	148.8%
	幼稚園型の利用児童数(延べ人数) (人)	4,272	2,844	5,837	9,071	4,055	223.7%
ファミリー・サポート・センター事業	登録会員数(件)	1,611	1,435	1,402	1,385	1,650	83.9%
	活動件数(件)	4,478	830	1,228	1,594	2,000	79.7%
子育て世代包括支援センター事業	相談件数(妊娠・出産・子育て) (件)	561	633	632	571	800	71.4%
	ケアプラン作成数(件)	344	425	449	457	452	101.1%
	産婦健康診査受診率(%)	—	96.7	92.8	95.3	100	95.3%
3人目の保育料等の無料化	市独自の無償化対象児童数(人)	275	228	203	1,036	270	383.7%
不妊検査・不育症治療助成事業	コウノトリ検査費助成件数(件)		102	84	76	130	58.5%

施策7

苫小牧の地域資源をいかした体験学習・地域づくりの推進



- ・豊かな感性と人間性を持つ子どもを育成するための体験学習の機会と環境の整備を図る。
- ・郷土とまこまいの魅力ある地域づくりを推進し、地元自慢・愛する心を育みます。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
豊かな自然環境や文化をいかした体験プログラムの充実	体験プログラム参加人数(人)	10,179	7,047	7,832	7,976	9,500	84.0%
	体験プログラム実施回数(回)	228	160	170	210	200	105.0%
アウトリーチ推進事業	事業数(事業)	34	29	34	35	40	87.5%
苫小牧アートフェスティバル事業	ワークショップ参加者数(人)	571	616	1,070	1,280	1,000	128.0%
市民・団体研修派遣事業	研修派遣者数(人)	3	累計0	累計0	累計3	累計6	50.0%

施策8

「ワーク・ライフ・バランス」を重視した職場の整備



- ・ワーク・ライフ・バランスへの取組促進に向けた各種啓発を実施し、企業の従業員の意欲、能力、創造性を引き出して生産性の向上を図るとともに、優秀な人材の確保・定着への土壌をつくりだす。
- ・少子化の抑制、労働人口の確保など、社会全体の活性化を図る。
- ・北海道で初めて「イクボス宣言」をした本市の取組を民間企業へと水平展開するため、民間との合同により研修を実施する。

各種事業の進捗状況

※赤色枠は令和2年度をもって事業終了。

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
ワーク・ライフ・バランス等推進事業	ワーク・ライフ・バランス等推進事業数(事業)	—	累計2	累計3	累計4	累計4	100.0%
官民合同研修事業	研修参加延人数(人)	—	—	20	10	100	10.0%

3 地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進

現状と課題

- 今後の人口移動をめぐっては、全国的に人口が減少する中で、他都市（札幌や首都圏）との競合が一層激しくなる可能性がある。
- これまで以上に本市の魅力や暮らしやすさをアピールし、「苫小牧市に移り住みたい」というイメージを維持・拡大していく必要がある。また、実際に地域コミュニティの活性化や生活利便性の向上など、生活環境の改善も併せて進めていく必要がある。

基本目標と
施策の基本的方向

- 本市出身者を本市に戻ってくる可能性のある層（移住のターゲット）として捉え、将来的なUターンにつなげる。
- 定住人口と交流人口に加え、その中間に位置する関係人口を増やすとの観点から、スポーツの振興、合宿誘致などを通じて本市に興味を持ち、繰り返し足を運んでもらえる機会を設ける。
- 進学や就職期に本市を離れた方が「郷土とまこまい」に戻ってきたいと思わせる環境づくりを推進する。

基本目標における数値目標

項目	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
転入者数（定住人口数）（人）	6,122	6,006	6,129	6,080	6,600	92.1%
観光入込客数（万人）	199.5	213.1	263.6	289.4	260	111.3%
「苫小牧市は住みやすい」と回答した人の割合（%）	33.1	—	—	31.3	40.0	78.3%

基本目標

地元の魅力を
強化、暮らしやすさ
発信で移住を促進

施策の基本的方向

3-1

苫小牧出身者のネットワーク化支援

3-2

交流人口・定住人口の拡大支援

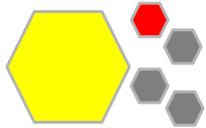
3-3

“とまごころ（地元自慢・愛する心）”の普及

3-4

関係人口の創出

施策9 苫小牧出身者への継続的な情報発信の拡充

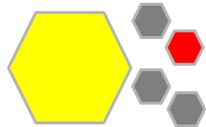


- ・本市出身者は、将来的に結婚や子育てを機にUターンする可能性があることから、本市が持つ様々な魅力を配信する。
- ・暮らしの情報や空き家情報、求人情報等をホームページやSNS（フェイブック等）、本市出身者が集う場を活用して発信し、出身者が気軽に地元の情報に触れられる環境を整える。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
旬のとまこまい情報の発信事業	ホームページアクセス数及びFacebookリーチ数(件)	8,969,733	13,738,386	9,941,022	8,672,243	17,000,000	51.0%
同窓会組織への情報発信	情報発信回数(回)	—	累計11	累計16	累計24	累計15	160.0%

施策10 移住者の受入れ体制の充実



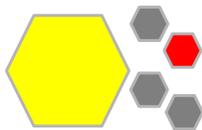
- ・移住希望者に対して、本市の生活環境や子育て環境などの情報や相談窓口の一元化を行い、効果的な情報発信と相談支援を行う。
- ・空き家の情報の整理・発信や空き家への入居支援を行う。
- ・本市への移住後の生活がイメージできるよう、移住希望者の要望に応じたオーダーメイド型の移住相談（市内案内）を実施する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
移住情報発信事業	イベント等での情報発信者数(人)	54	累計136	累計176	累計232	累計250	92.8%
移住体験プログラム ～苫小牧オーダーメイド移住ガイド～	移住ガイド参加者数(人)	2	累計29	累計44	累計55	累計45	137.5%
	移住支援金支援者数(人)	—	累計11	累計18	累計26	累計25	104.0%
氷都とまこまい体感プログラム	氷都とまこまい体感プログラム参加者数(人)	—	累計8	累計27	累計50	累計30	166.7%

施策11

ご当地イベントを活用した交流人口の創出



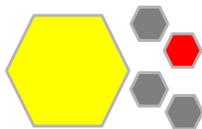
- 本市の貴重な自然や産業施設をいかしたイベントとして定着してきた「コスプレフェスタ」や、アニメ等のコンテンツを活用した新たな観光イメージをPRし、交流人口の更なる獲得につなげる。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
とまこまいコスプレフェスタ	来場者数(人)	16,000	8,000	9,500	9,000	17,000	52.9%
とまこまいフィルムコミッション事業	ロケーション撮影数(件)	14	10	10	14	20	70.0%
アニメツーリズム推進事業	特設ホームページアクセス数(件)	—	20,890	3,080	35,142	18,000	195.2%
苫小牧都市再生コンテンツ創出事業	来場者数(人)	—	33,100	41,250	51,043	14,000	364.6%

施策12

縁結びコーディネート機能の充実

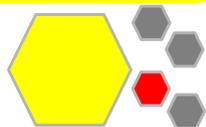


- 結婚を機とした移住者を増やすべく、苫小牧市内在住の男性又は女性と市外在住者（札幌市民など）とのマッチングを行う。
- （とましん結婚相談所と連携した）メンター機能を強化し、結婚希望者への支援を行う。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
とまこまい縁結びサポート助成事業	婚姻率(%)	4.82	4.17	3.73	3.77	6	62.8%
	とましん結婚相談所登録者の結婚数(組)	6	累計9	累計10	累計12	累計30	40.0%
届け出挙式	挙式回数(件)	4	累計6	累計6	累計7	累計20	35.0%

施策13 郷土の魅力を伝える活動の推進

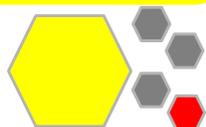


- 子どもから高齢者までの全ての市民が、本市の地域資源の魅力を知り、郷土とまこまいへの理解を深めるとともに、地元自慢・愛する心（とまごころ）の醸成につなげる。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
苫小牧版図柄入りナンバープレート	図柄入りナンバープレート交付数(件)	—	4,270	5,311	6351	4,000	158.8%
とまチョップ水事業	とまチョップ水販売・配布本数(本)	92,000	74,178	99,148	102,495	75,000	136.7%
氷上スポーツ事業	スケートエンジョイスクール参加人数(人)	3,957	989	796	721	3,600	20.0%
	アイスホッケーコース参加人数(人)	594	773	764	999	600	166.5%
	スピードスケート体験教室参加人数(人)	276	236	130	143	250	57.2%
町内会スケートリンク経費助成事業	スケートリンク設置数(か所)	6	6	2	1	7	14.3%
国際アイスホッケー中学生交流事業	参加人数(人)	46	—	事業中止	—	50	—

施策14 苫小牧との継続的なつながりを持つきっかけづくりの推進



- スポーツ合宿等を通じて、本市の「ファン」を増やし、地域の課題解決にも関わってもらえる地域外の人々とのネットワークを拡げる取組を推進します。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
ふるさと納税事業	リピーター率(%)	18.8	30.7	31.5	42.9	30	143.0%
はちとまネットワーク推進事業	アイスホッケー事業参加人数(人)	40	累計51	累計92	累計134	累計80	167.5%
スポーツ合宿等補助事業	スポーツ合宿件数(件)	155	69	95	112	160	70.0%
	スポーツ合宿宿泊数(泊)	10,726	5,662	7,007	8,005	12,000	66.7%
全国高等学校選抜アイスホッケー大会	出場団体数(団体)	28	累計48	累計77	累計105	累計100	105.0%
ワーケーション拠点構築事業	ワーケーションホームページアクセス数(件)	—	23,118	26,893	20,056	20,000	100.3%

4 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

現状と課題

本市の人口推移は製造業をはじめとする企業進出の影響が大きく、人口減少局面に突入した時代においては、更なる競争力の向上が喫緊の課題。

産業集積地である本市は、世界的な景気の影響や社会環境の変化により、常に（国際的な）地域間の競争にさらされていると言える。

基本目標と
施策の基本的方向

- ・ 戦略的な企業誘致の推進及び進出企業に対するフォローアップを進める。
- ・ 多様な産業の集積を推進し、産業の高度化を目指すとともに、地域間連携による産業振興を進める。
- ・ 国際観光リゾートなどの新しい産業の誘致を図りつつ、豊かな自然環境との調和を図り、快適な都市環境を確保する。

基本目標における数値目標

項目	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
新規企業進出件数（5年間累計）（件）	累計16	累計7	累計9	累計11	20	55.0%
「働く場」としての魅力度（%）	40.5	—	—	41.6	50.0	83.2%

基本目標

産業競争力を高め、
地域ブランド力を向上

施策の基本的方向

4-1

進出・立地企業へのサポート機能の強化

4-2

多様な産業集積（高度化）の推進

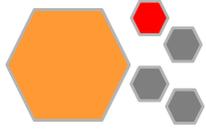
4-3

地域間連携の促進

4-4

充実した都市機能と豊かな自然の共生

施策15 進出・立地企業への支援強化



- ・ 立地企業が抱えている人手不足、人材確保等の課題やニーズに対して、継続的に意見交換・情報共有を図るとともに、課題解決に向けて連携・協力・支援を行う。
- ・ 外国人労働者をはじめ、外国籍市民の受入体制の充実、地域との共生を図るため、相談窓口を設置するほか、緊急通報時や救急活動時の多言語通話サービスを導入する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
事業拡大・販路拡大支援事業	展示会や商談会への出店経費の補助件数(件)	10	累計19	累計31	累計37	累計50	74.0%
人材確保支援事業	就職セミナーへの出店経費等の補助件数(件)	5	累計91	累計120	累計150	累計100	150.0%
職場環境改善事業	労働環境改善等のための経費補助件数(件)	19	累計70	累計86	累計112	累計100	112.0%
外国人相談窓口設置	サロン利用者数(人)	1,678	894	944	1,031	2,000	51.6%
離職防止等処遇改善事業	処遇改善企業数(件)	65	累計142	累計189	累計237	累計150	158.0%
緊急通報・救急活動時の多言語通話サービス導入	三者間同時外国語通訳及び多言語音声翻訳アプリ導入割合(%)	—	100	100	100	100	100.0%

施策16

地理的優位性をいかした企業誘致の促進



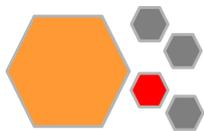
- 新規立地及び企業の設備投資を呼び込むために、必要なインフラ整備を行うとともに、企業のニーズに応じた助成金制度により企業活動を支援し、多様な産業分野における企業進出を促進する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
新千歳空港の機能充実と国内・国際空港輸送ネットワークの拠点形成	国内路線(路線)	28	28	27	34	31	109.7%
	国外路線(路線)	19	24	7	17	34	50.0%
企業立地振興条例助成金	事業場設置助成金(千円)	252,943	233,412	308,710	332,523	304,494	109.2%
	雇用助成金(千円)	30,600	13,800	11,400	4,200	29,400	14.3%
	緑化助成金(千円)	—	0	2499	10,000	10,000	100.0%
苫小牧港管理組合負担金	貨物取扱量(外資)(千t)	17,550	15,791	16,322	16,144	22,144	72.9%
	貨物取扱量(内資)(千t)	89,895	92,263	84,958	83,897	89,606	93.6%

施策17

広域連携事業の推進



- 東胆振定住自立圏における地域間の連携を促進し、本市が持つ都市機能と近隣自治体が持つ魅力や強み（豊かな自然・第一次産業等）を深掘りするとともに、その価値を内外に発信する。
- 近年、多発する広域災害への備えを広域圏で進めるとともに、災害発生後の復旧・復興はもとより、経済活動の停滞（風評被害など）を回避するための取組を連携して実施する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
新千歳空港を核とした地域活性化の推進	新千歳空港旅客数(千人)	23,632	17,873	22,926	24,825	27,830	89.2%
広域連携による地域ブランド推進	地域ブランドの合同PR回数(回)	6	累計8	累計12	累計20	累計20	100.0%
防災体制の充実	備蓄品充足率(%)	79	95	98	100	100	100.0%

施策18

持続可能な都市機能及び自然と共生した国際観光リゾートの形成



- 豊富かつ貴重な自然を観光資源とした、国際観光リゾートなどの新しい産業の誘致により、投資を呼び込む機能を高め、新規雇用を創出するとともに市内への移住を促進する。
- Society5.0が掲げる新技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、持続可能な都市機能の整備として、市民や来訪者がストレスなく目的地への移動が可能となる、ICTを活用した交通サービス導入の検討を進める。
- 近年、多発する広域災害から安全・安心を確保するため、市民への情報発信の強化に取り組む。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
とまこまい版MaaS構築事業	地域課題の解決に向けた次世代モビリティに関するサービスの実装提供件数(件)	—	累計1	累計3	累計6	累計3	200.0%
危機管理に関する情報発信の強化	防災情報配信サービス(メール)登録者数(人)	—	5,402	5,547	5,810	6,000	96.8%
	防災情報配信サービス(LINE)登録者数(人)	—	3,487	5,047	9,777	4,000	244.4%
防災行政無線整備事業	屋外スピーカー設置基数(基)	25	127	127	127	130	97.7%
国際リゾートの形成	訪日外国人宿泊延べ人数(人泊)	35,780	6,598	15,411	26,208	42,560	61.6%
ごみ分別アプリ事業	アプリダウンロード数(%)	—	7	10	12	20	60.0%

施策19 ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の推進



- 2021（令和3）年8月、2050（令和32）年までにCO2の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言しました。市民、事業者、市が連携・協力の上で必要な環境行動を実施し、ゼロカーボンシティの実現を目指す。
- 本市の立地環境をいかした再生可能エネルギーの導入促進、水素の取組のほか、本市で行われているCCUS・カーボンリサイクルの様々な実証事業を軸に、ゼロカーボンと産業振興の両立を目指す。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成状況
ゼロカーボン推進啓発事業	出前講座や体験学習会などの実施件数	—	累計48	累計117	累計226	累計38	594.7%
ゼロカーボンハウス促進補助事業	ゼロカーボンハウス促進補助金の補助件数	—	累計488	累計810	累計1,113	累計1,644	67.7%
ゼロカーボン対策推進企業の相談・支援	ゼロカーボン対策推進企業の支援件数	—	—	32	累計63	累計50	126.0%

02 | 今後の総合戦略について

2. 今後の総合戦略について

- ・国では、令和7年6月に今後10年間を見据えた「地方創生2.0基本構想」を策定し、地方創生2.0の取組の方向性を具現化
- ・北海道では、こうした動きを踏まえ、新たな視点や施策等を適切に反映し、より一層効果的に取組を推進するため、令和7年度中に総合戦略の見直しを実施
- ・本市においても「地方創生2.0基本構想」を勘案した総合戦略の策定が求められており、国や道の総合戦略を踏まえながら、今後見直しを予定

国が掲げる「地方創生2.0」とは

3つの目指す姿

- ①「強い」経済
- ②「豊かな」生活環境
- ③「新しい日本・楽しい日本」

6つの「基本姿勢・視点」

- ①人口減少を正面から受け止め
- ②若者や女性にも選ばれる地域づくり
- ③異なる要素の連携と「新結合」
- ④AI・デジタルなどの新技術の徹底活用と社会実装
- ⑤都市・地方の共生関係の強化と人材循環の促進
- ⑥好事例の普遍化

地方創生2.0 政策の5本柱 ※詳細はP28～P32



くらしの安心

安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生



付加価値創出

稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～



人や企業を各地に

人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～



新技術の活用

新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用



新・広域連携

広域リージョン連携



安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

くらしの安心

- 若者や女性にも選ばれる地方となるための社会変革・意識改革や、魅力ある働き方・職場づくり、人づくり
- 将来を見据えた地域の拠点づくりや生活必需サービスの維持・確保
- 「民」の力を活かした人を惹き付けるまちづくりをはじめとする官民連携の推進
- 災害から地方を守るための防災力強化

主な施策

- 人を惹き付ける質の高いまちづくりの推進
- 地域の働き方・職場改革を起点とした社会変革
- 地域暮らしサービス拠点構想の整備
- 地域協同プラットフォームの構築
- 「生涯活躍のまち」(日本版CCRC)2.0の展開
- 交通空白の解消等に向けた地域交通のリ・デザイン等



稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

付加価値創出

- 様々な「新結合」を全国各地で生み出し、地方に元気と活力をもたらす「地方イノベーション創生構想」の実現
- 地域資源やサービスの高付加価値化
- インバウンド需要の取り込みや地域産品の海外展開の強化
- 施策・人材・技術の新結合を重点的に推進

主な施策

- スタートアップを生み出すエコシステムの形成
- 観光・インバウンドの地方誘客の高付加価値化
- スマート農林水産業の開発・普及促進
- 中堅・中小企業に対する地域の支援体制の構築
- 再エネ導入による地域脱炭素の推進
- 地域金融力の強化 等



人や企業を各地に

人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

- 政府関係機関の地方移転や企業・大学の地方分散
- 地方大学による人材育成機能の強化
- 関係人口の創出により、地方への新たな人の流れを創出
- 都市と地方の間や、地域の内外で人材をシェアする政策の推進

主な施策

- 政府関係機関の地方移転
- 本社機能の地方分散
- 「ふるさと住民登録制度」の創設
- REVICarrer (レビキャリ)やプロフェッショナル人材事業の強化
- 地方移住や二地域居住の促進 等



新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用

新技術の活用

- GX・DXによって創出・成長する新たな産業の集積に向けた電力と通信基盤の整備
- AI・ドローンをはじめとした様々なデジタル・新技術の徹底活用により、地方における社会課題を解決

主な施策

- ワット・ビット連携等の推進
- GX産業立地の推進
- GX・DX分野における大規模投資促進や人材育成・確保
- 産業用地・産業インフラの確保
- デジタルライフラインの整備 等



広域リージョン連携

新・広域連携

- 地方公共団体と企業や大学、研究機関など多様な主体が、都道府県域や市町村域を超え、広域的に連携
- 省庁横断的に産業振興、観光政策、インフラ整備等の取組を推進

主な施策

- 広域リージョン連携の枠組みの創設
- シームレスな拠点連結型国土の実現
- 広域連携でのインフラ管理の推進 等